



奥州藤原氏 栄える ◎平泉

平安初期の安定

- ・国司を厳しく監視して地方政治を引き締めた。
 - ・▲坂上田村麻呂を「征夷大將軍」に任命し、蝦夷の反乱を制圧して東北地方まで平定した。
 - ・農民を兵士にすることをやめ、負担を軽くした。
- ※これらの政策で、平安時代初期（9世紀前半）は律令制度が比較的安定した時代だった。

9世紀後半からの社会の変動

9世紀後半から次のような事柄が、それぞれ複雑に絡み合いながら進行し、律令制度が崩れていった。

- ・摂関政治
- ・荘園の増大
- ・口分田の不足 → 班田収授の停止
- ・地方政治の乱れ → 治安の悪化 → 武士の台頭

摂関政治

9世紀中頃から摂政や関白の地位を独占した藤原氏が、政治の実権をにぎった。この頃の政治を摂関政治という。

- ・天皇が幼い時は摂政の位に就く
- ・天皇が成人してからは関白の位に就く

摂関政治は11世紀前半藤原道長・頼通親子の時代に全盛期を迎えた。

「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の
かけたることも なしと思へば」 …道長

荘園の増大

- 不輸の権 … 税金を納めなくてもよい権利
 - 不入の権 … 国司を荘園内に立ち入らせない権利
- (不輸の権・不入の権は教科書に記述がない場合もあります。)

院政

11世紀末に即位した白河天皇は、摂関政治の藤原氏とは関係が薄かった。天皇は位をゆずって上皇となった後も摂政や関白の力を押さえて実権を握り、院と呼ばれる上皇の御所で政治を行なった。これを院政という。

平氏の全盛時代 … 「平氏にあらずんば人にあらず」

※ ▲平清盛は兵庫（神戸市）の港を整備し

日宋貿易を行なった。

平安時代の仏教

平安初期に唐から伝えられた

山奥にこもって修行をする山岳仏教
▲最澄 … 天台宗（比叡山・延暦寺）

▲空海 … 真言宗（高野山・金剛峰寺）

武士のおこり

地方の政治が乱れ、治安が悪化すると、豪族や名主（有力な農民）たちは、自分の土地を守るために、一族や従者を武装させて自衛するようになった。これが武士の始まりである。

彼らは地方に下ってきた皇族や貴族と主従関係を結び、武士団を形成した。その中で最も大きな武士団に成長したのが源氏と平氏である。

彼らは、平将門・藤原純友の乱（10世紀中頃）や、前九年の役・後三年の役（11世紀後半）で、戦乱をしずめたので、中央の貴族たちにも実力を認められるようになり、ついに12世紀後半、中央の政治権力を握った。

僧兵 … 延暦寺や興福寺などの大寺院が養った武装した僧兵のこと。彼らが京都で乱暴したのは有名。

浄土信仰（阿弥陀仏信仰）

世の中が乱れてくると、10世紀の中頃から末法思想が流行し、人々は阿弥陀仏にすがって、極楽浄土に生まれ変わることを望んだ。これを「浄土信仰（阿弥陀仏信仰）」といい、各地で阿弥陀堂や阿弥陀仏像が造られた。→ 例：平等院鳳凰堂（阿弥陀堂）

国風文化



※遣唐使の廃止（894年）で、外国文化が輸入されなくなると、唐風の文化を基礎にしながら、日本の風土や生活に合った文化が貴族社会を中心に形成された。（国風文化）

寝殿造 … 平安時代の代表的な建築様式

- 平等院鳳凰堂（▲藤原頼通…10円玉の絵）
- 中尊寺金色堂（奥州▲藤原氏）…平泉（岩手県）

仮名（かな）文字の発明

- 源氏物語（▲紫式部）
- 枕草子（▲清少納言）
- 古今和歌集（▲紀貫之）